

オステオスペルマム ブラッシングビューティー

用 土 : 通気性が良く、排水および保水が良い用土（オステオスペルマムは灌水の間に用土が乾燥する事を好む）。pH5.8～6.2 が最適。

温度管理 : 夜 温 : 7～13℃ 昼 温 : 15～24℃ (26℃以上は避ける)
移植後から 7～14 日間（活着し順調に生育が始まるまで）夜温を 15～18℃にします。苗が活着し生育が始まれば、必要によりピンチを行い、生育に良い涼しい温度にします。

移 植 : 発根苗は根や茎腐れの病気を減らすため、仕上げ鉢の用土面に対しやや高植えとします。また場合によって殺菌剤を灌注するのも有効です。

照度管理 : 極力強いレベルの光に当て栽培します（好適照度：50,000～90,000 ルクス）。

灌水管理 : オステオスペルマムは灌水の間は用土を乾かし、決して長期間多湿の状態にしてはならない。しかし植物は常に萎らせてはならない。灌水の水は正しく濾過し、用土の塩類濃度が上がるのを避けます。

施肥管理 : 窒素成分 225～300ppm のバランスの良い施肥を行います。過度の肥料不足は植物を木質化し、分枝を不規則にします。

ピンチ : ブラッシングビューティーはピンチを 1 回行います。苗が活着したらピンチを行うと分枝を多くし、株張りが良くなり株が花で覆われます。

株式会社 エム・アンド・ビー・フローラ

ホームページ <http://www.mbflora.co.jp/>

【本 社】〒408-0041 山梨県北杜市小淵沢町上笹尾 3 1 8 1 - 4

TEL : 0551 (36) 5677 FAX : 0551 (36) 5636

【東 京 事 務 所】〒156-0056 東京都世田谷区八幡山 2 - 1 - 8 ミヨシビル 1F

TEL : 03 (3306) 7412 FAX : 03 (3306) 7419

【千葉農場 営業部】〒285-0913 千葉県印旛郡酒々井町墨 1 5 3 8 - 6

TEL : 043 (308) 9210 FAX : 043 (308) 9010

生育調整 : 必要に応じて矮化剤を使用してください。(矮化剤は一般的なガイドラインを基に、独自の環境下でテストを行った後に処理してください。)

害 虫 : スリップス、ホウイトフライ、アブラ虫

病 気 : ボトリチス (灰色カビ病)、根グサレ病、ピシウム、リゾクトニア、
ウドンコ病、ウィルス

<問題>

<原因>

株枯れ	栽培用土の長期間の多湿 (ピシウム、根グサレ病) 茎枯れ (ボトリチス) 発根苗の深植え
過繁茂および花数の不足	アンモニア態窒素の過剰施肥 低照度下の過剰施肥 低照度と過灌水。用土の多湿
若葉の黄化	用土の多湿
葉のネクロシス	用土の高塩類濃度 過度の水分ストレス
分枝不良および痩せた株張り	生育初期の肥料不足 低照度

生産スケジュール (発根苗定植より出荷までの週数)

	10.5cm ポット 1本/鉢	15cm ポット 2~3本/鉢	25~30cm ポット 3~5/鉢
発根苗	10~13	11~14	12~15

株式会社 エム・アンド・ビー・フローラ

ホームページ <http://www.mbflora.co.jp/>

【本 社】〒408-0041 山梨県北杜市小淵沢町上笹尾 3 1 8 1 - 4

TEL : 0551 (36) 5677 FAX : 0551 (36) 5636

【東 京 事 務 所】〒156-0056 東京都世田谷区八幡山 2 - 1 - 8 ミヨシビル 1F

TEL : 03 (3306) 7412 FAX : 03 (3306) 7419

【千葉農場 営業部】〒285-0913 千葉県印旛郡酒々井町墨 1 5 3 8 - 6

TEL : 043 (308) 9210 FAX : 043 (308) 9010

担当営業 :